



みささ

「みのりある学び」と

「さわやかな仲間」は

「最適な環境」から

令和5年10月20日No.43

文:岡本勇人



三朝町立三朝中学校 学校だより

鳥の劇場芸術監督 中島諒人さんが、21世紀を生き22世紀も生きるであろう生徒たちに、「21世紀を生きるための4つのC」を伝えられました。鳥の劇場による『がまくんとかえるくん』の観劇とワークショップ(児童生徒を対象とした文化芸術事業)のエンディングでの一場面です。

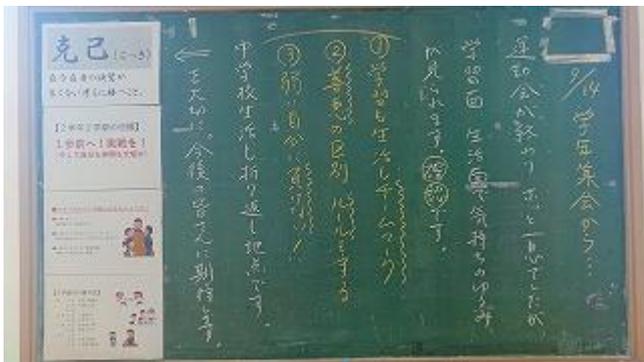
4Cは「Creativity(創造性:既成概念にとらわれず考える力)」「Critical Thinking(批判的思考:問題を見つけ、分析・判断し解決する力)」「Collaboration(協働・協調性:共通の目標を達成するために協力する力)」「Communication(コミュニケーション:アイデアを素早く明確に伝える力)」の頭文字を指します。学校で学ぶ知識をハード面とするならば、これらのスキルはソフト面の学びだとされており、このソフトスキルを習得しているか否かは、子どもの将来を大きく左右するとも言われています。21世紀型スキルとも言われています。

観劇後のワークショップでは、自分たちで答えをつくっていく活動をしました。「がまくんとかえるくん」を観て感じたことを使って、自分自身が演者となり何もないところに空間を創り出していました。このワークショップ内には、4つのCがありました。

この行動・動作等が、「4つのCのうちのこれ」と自分自身で価値づけられていることを願っています。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「運動会を経験して」

◆ 自分自身の欲望やよくない考えに勝つこと



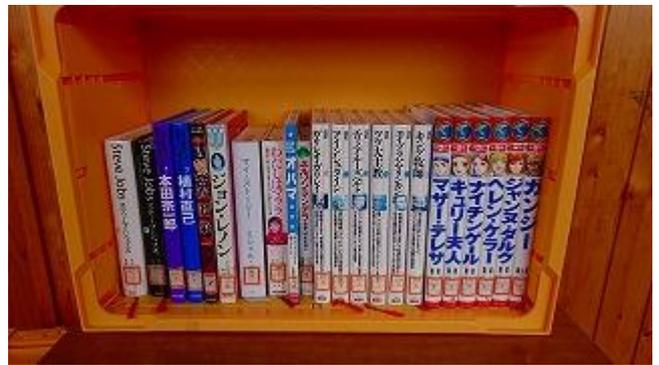
気持ちのゆるみ無くすために、克己(ある高等学校の校訓!?)を意識させたようです。先ほどの4Cと関連付けられる内容があり、意識し続けることの大切さを改めて実感しました。意識し続けることで、無

意識にできるようになるはずでず。私たちはすでにこのことを経験しています。おむつトレーニングがそうです。4Cのうち3Cが含まれている気がします。

日々の学校生活・授業・部活動等で当たり前のように無意識にできるようになってほしいと願うのは、私だけでしょうか。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「有名人」

◆ 錚々たるメンバー

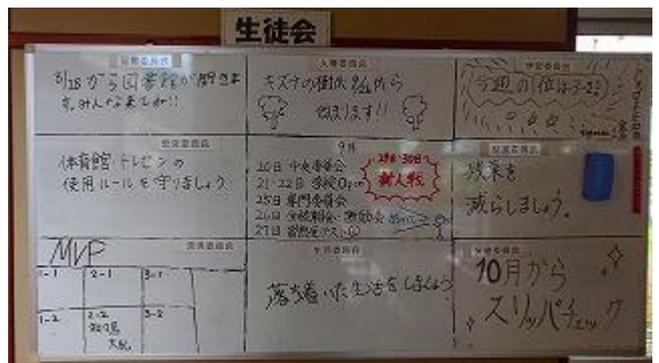


「Steve Jobs・本田宗一郎・渋沢栄一…」について、どんな事をした人が説明は充分にできませんが、名前を聞いたことがあったり顔が浮かんだりします。

「こんな人になりたい」とポスターが貼ってあったので、文化祭に向けた学習だろうと感じました。本校の先輩方もスポーツや文化芸術で活躍されている方々がいらっやいます。在校生も含め、「こんな人になりたい」メンバー入りとなる日が来るでしょう。

「みのりある学び」×「さわやかな仲間」×「最適な環境」×「生徒会活動」×「自治力」

◆ 落ち着いた生活の先にある…



生活委員会目標「落ち着いた生活をしましょう」もっと落ち着いて～という意識の表れでしょうか。